

報告書抄録

ふりがな	りょうあんじいせき・そんこうじいせき							
書名	了安寺遺跡・尊光寺遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	34-1							
編著者名	瀬口眞司・北村圭弘・吉田秀則							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課／財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	大津市京町四丁目1番1号／大津市瀬田南大萱町1732番2号							
発行年月日	平成19年（2007年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
りょう あん じ 寺	しがけんこなんしなつみ 滋賀県湖南市夏見	25362	039	34度 59分 30秒	136度 6分 45秒	040705 ↓ 060331	4526m ²	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）事業
そん こう じ 寺	しがけんこなんしひらまつ 滋賀県湖南市平松	25362	050	34度 59分 45秒	136度 5分 0秒	060508 ↓ 070331	475m ²	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
了安寺遺跡	集落	平安時代後半から鎌倉時代		掘立柱建物、柱列、溝、ピット		土師器、黒色土器、瓦器、灰釉陶器、白磁		
尊光寺遺跡	集落	弥生時代から古代		旧河道		弥生土器、須恵器		
要約	<p>（了安寺遺跡） 平安時代後半の10世紀末から11世紀前半頃に土地利用が本格化した地点である。当初は旧東海道に沿って形成された集落的要素のあるエリアとして利用され始め、12世紀にはその範囲を広げている。そして、13世紀の鎌倉時代には利用範囲をより西側に広げ、そこを耕作地として利用するに至った。</p> <p>（尊光寺遺跡） 2条の旧河道を検出し、弥生土器・須恵器が出土した。周辺に集落や古墳の存在を示唆する。</p>							